

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 24 日 作成  
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 19 日 作成

事務事業名		農業集落排水施設及びマンホールポンプ場維持管理事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり	所属部	水道局	課長名	久留 伸二
	施策	10	水環境の保全	所属課	上下水道課	担当者名	大塚 裕貴
	基本事業	28	水質の浄化	所属班	管理工務班	(内線)	1177
				法令根拠	下水道法、水質汚濁防止法		

予算科目	会計	55	款	1	項	1	目	2	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	5
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H12 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)									

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】農業集落排水施設及びマンホールポンプ場の適正な維持管理運営である。  
 ・消耗品、医薬材料、原材料、燃料の適宜購入事務。  
 ・維持管理確認事務  
 ・法定検査対応事務  
 ・維持管理運転に係る補修対応事務  
 【業務の流れ】  
 ①故障報告受付事務②現地調査(緊急であるかの判断)③補修工事契約事務④現地打合せ⑤竣工検査事務⑥支払事務  
 ・維持管理運転委託事務

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 優先度を把握し、的確な修繕を行う。	
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 浄化センター・ポンプ場の保守、点検の委託 浄化センター・ポンプ場の補修等	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	件
		→ ア:保守点検、委託の件数	件
		イ:補修件数	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	浄化センター及びポンプ場	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	箇所
		→ ア:浄化センターの箇所数	箇所
		イ:マンホールポンプ場の箇所数	箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	施設が故障無く稼働できる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	件
		→ ア:不具合やトラブルの発生率(件数)	件
		イ:不具合やトラブルへの対応率	%
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	水質が向上する。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	%
		→ ア:市内河川のBOD(測定地点)基準達成率	%
		イ:	

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	15,786	15,882	15,165	16,463	17,460	17,290		17,290
		繰入金	千円	11,294	7,255	8,763	6,593	7,654	6,810		6,810
	一般財源	千円									
	(A) 事業費計	千円	27,080	23,137	23,928	23,056	25,114	24,100	24,100		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人	4	7	7	7	7	7		7
	延べ業務時間	時間	500	535	535	535	535	535	535		
(B) 人件費計	千円	1,985	2,129	2,129	2,129	2,129	2,129	2,129	2,129		
トータルコスト(A)+(B)	千円	29,065	25,266	26,057	25,185	27,243	26,229	26,229	26,229		

指標	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画
活動指標	件	3	3	3	3	3	3	3	3
	件	6	6	5	3				
対象指標	箇所	2	2	2	2	2	2	2	2
	箇所	8	8	8	8	8	8	8	8
成果指標	件	6	6	5	3				
	%	100	100	100	100	100	100	100	100
上位成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	100

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 旧西合志町での公共下水道区域及び特定環境保全公共下水道区域以外の地域で、農業集落排水事業計画により、平成10、11年に農業集落排水処理施設(蘇水苑、清流館)及びマンホールポンプ場が建設され、平成12年の供用開始により始まった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 供用開始より8年ほど経過し老朽化が見受けられ、5年前と比べれば補修箇所が多少増えてきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

事務事業名	農業集落排水施設及びマンホールポンプ場維持管理事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	---------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 施設が故障無く稼働でき、維持管理が円滑に進むことにより、市民の生活環境が保全され、また放流水の水質が安定する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 浄化センター等の維持管理は、市民の生活環境保全及び公共水域の水質保全につながるものであり、その応分の使用料も賦課されているので、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象は浄化センター及びポンプ場であり、意図もこの施設が稼働するためのものである。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 老朽化した施設の改築を年次計画をたて実施することにより、トラブルの発生や補修箇所が減り、円滑な維持管理できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 本事業を停止・休止すれば、市民の生活や公共水域の水質に重大な影響を与える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 当処理区に限られた維持管理業務であるため、統廃合・連携はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 今後は指定管理者制度の導入を検討する。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 維持管理については、現在、民間に委託しているが、処理場全体の運営について、指定管理者制度の導入も検討する。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 受益者より使用料を応分負担して頂いているので適切である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 現状のまま問題無いと思われるが、今後も指定管理者制度の導入及び包括的民営化も考慮しながら様子を見ていく	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
老朽化に伴い、更に不具合や故障の増加が懸念される為、早期の対応に努める

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	1	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )